

## ディボーション質問表

22日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

23日(月) ヘブル人への手紙 6:1~10

1. 6つのキリストの初歩の教えは何ですか(1~2節)？
2. どのような人には救いの見込みはない、と言っていますか(4~8節)？
3. 救いにつながる条件は何ですか？ 1~10節を読んで発見してください。

24日(火) ヘブル人への手紙 6:11~20

1. 私たちに求められていることは何ですか？ 誰に習うようチャレンジしていますか(11~12節)？
2. 前の質問のように御言葉は私たちにチャレンジを与えていますが、それを支えるものがあります。それは何ですか(13~20節)？ (答え:18節。神の「みことば」でさえ確実なものにもかかわらず、神は「誓い」をも余計に付け足し、私たちが持つ約束と福音は絶対的なものであり、私たちののぞみであることを保障してくださいました。)

25日(水) ヘブル人への手紙 7:1~28

1. メルキゼデクはキリストの型でした。メルキゼデクとイエス様の共通点は何ですか(2~3節)？
2. 律法の定めによって立てられた大祭司アロンの子孫たちよりも、いのちの力によって立てられた王なる大祭司イエス様のほうが優れています。それはなぜでしょう(15~25節)？ イエス様がくださったことを黙想してみましょう。

26日(木) ヘブル人への手紙 8:1~13

1. 「大能者の御座の右に着座された」大祭司とは、何を意味していますか？
2. 新しい契約の特徴について、もう一度思い起こしてみましょう。この契約にはどのような約束が含まれていますか？

27日(金) ヘブル人への手紙 9:1~28

1. 古い契約とキリストによる新しい契約の違いを発見してください。ただ一度の犠牲で、永遠のあがないを成し遂げたキリストの偉大さを思い巡らしてみましょう。

28日(土) ヘブル人への手紙 10:1~25

1. 罪あるものは神様に近づく事ができません。罪の赦しの為に、いけにえが必要でした。「イエス様が地上に来る以前のいけにえ」と「イエス様が行ったいけにえ」の違いを探し、箇条書きにしてみましょう。並べて比較することで、何か発見することはないでしょうか(1~18節)。
2. 19~22節に、現代の私たちは、神様に大胆に近づくことができるという素晴らしい約束が書かれています。19節の「こういうわけですから」の理由を考えてみましょう。どういうわけで、罪のある人間が、聖なる神様に近づくことが可能になったのでしょうか？ Q1の答えを参考にしながら、自分の言葉で説明してみましょう。